

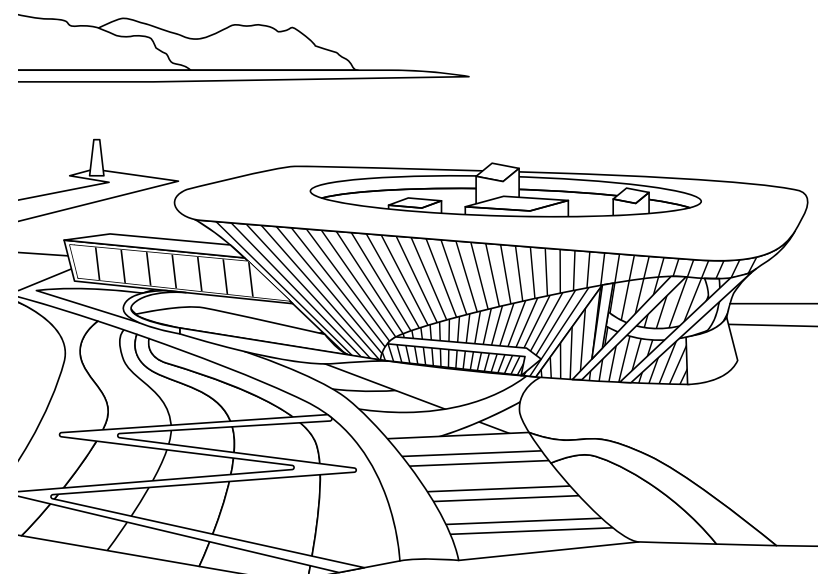
# MMMK

## 国立海洋博物館 “海を抱く、 世界を繋ぐ”

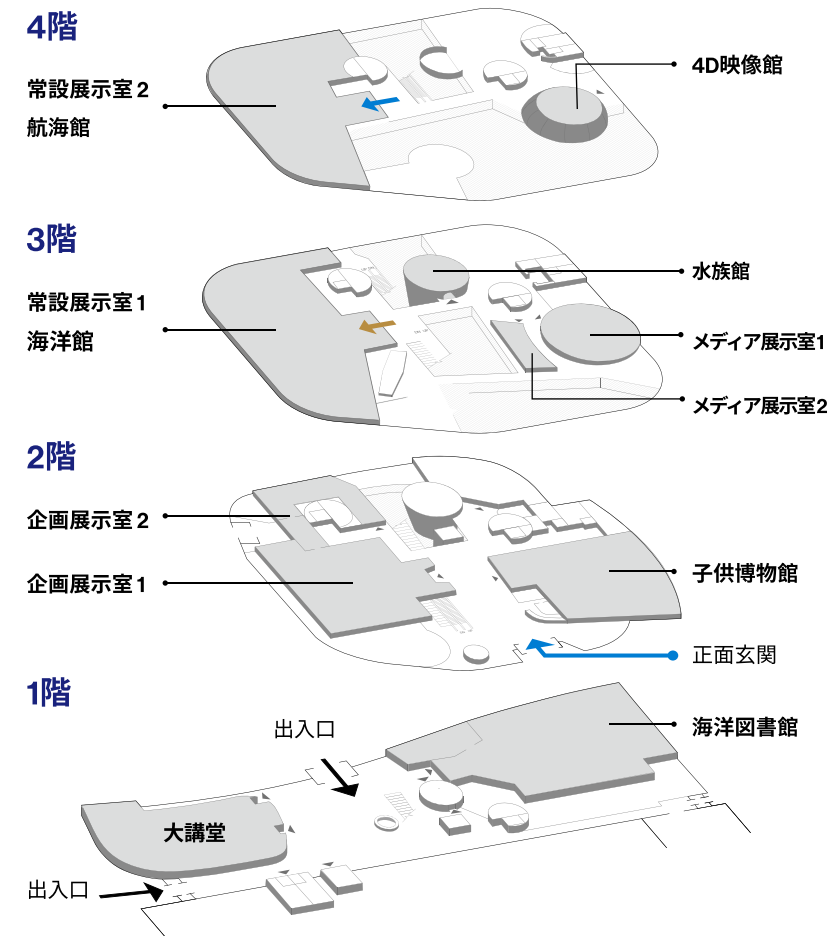
国立海洋博物館は、海洋関連遺物の収集・研究・展示を通じて、総合的な海洋未来ビジョンを提示する総合海洋博物館です。

全世界の海洋文化遺物をテーマ別にまとめた2つの常設展示室、多様な内容を披露する企画展示室、展示物の理解を深める展示解説プログラム、五感で楽しく学べる子供博物館、多彩な教育プログラム、先端技術を活用した体験型コンテンツなどを存分に楽しむことができます。

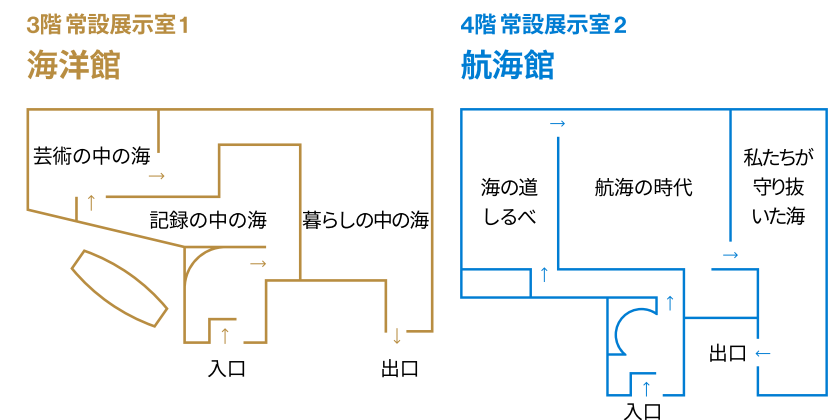
海を一望する国立海洋博物館で、周辺散策なども楽しみながらごゆっくりお過ごしください。



## 館内案内図



## 常設展示室案内図



## ご利用案内

開館時間	火一金	9:00—18:00 (閉館30分前まで入場可)
	土曜日	5月—8月: 9:00—21:00 9月—4月: 9:00—19:00
休館日	日曜日・祝日	9:00—19:00
	博物館休館日	毎週月曜日 月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日に休館
海洋図書館	火—日	9:00—17:30
海洋図書館休館日	博物館休館日、祝日(日曜日を除く)	

**館内サービス** 大きなお荷物は1階と2階のコインロッカーまたは受付でお預けください。館内用ベビーカー、館内用車椅子の無料貸し出しを行っています。

- お客様へのお願い**
- 展示物および展示ケースに触れないでください。
  - 他のお客様のご迷惑になる行為はご遠慮ください。
  - 大きな声はご遠慮ください。
  - 撮影の際にフラッシュや三脚の使用はできません。
  - ペットを連れての入館はお断りします。
  - 飲食物のお持ち込みはご遠慮ください。
  - 館内外とも禁煙です。

交通のご案内	公共交通機関	地下鉄南浦駅より186番または17番バスに乗り換え「国立海洋博物館」下車。
	釜山シティーツアー	釜山シティーツアー「グリーンラインコース」。「国立海洋博物館」下車。
自動車	東釜山圏: 釜山港大橋利用。 西釜山圏: 南港大橋利用。	

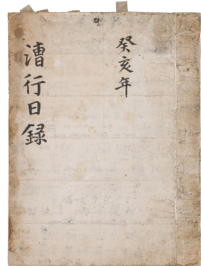
3階 常設展示室1 海洋館では、先人たちが海と共に生活を営むなかで残した記録

## 海洋館

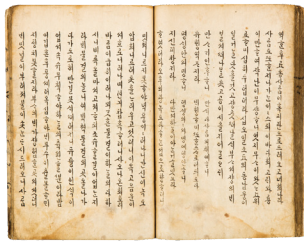
、芸術、生活文化など、海洋文化のすべてを展示しています。数千年前に東海岸で行われていた捕鯨の様子から、貝殻で作られた螺鈿工芸品、海を題材にした絵画、そして現代の漁業活動まで、テーマ別に様々な海洋文化を紹介しています。

### 記録の中の海

人間は、海と密接に関わりながら暮らすなかで経験した事実や想像した未知の世界を文字で表現しました。これらの記録には、当時の人々が海に対して持っていた様々な考えや感情が綴られています。



漕行日録  
釜山広域市文化財資料



竹泉李公行跡録  
釜山広域市文化財資料

### 暮らしの中の海

私たちの伝統的な漁法は、海を傷つけず、順応し、共存してきた経験の産物です。広大な干潟、寒流と暖流が交差する恵まれた自然環境のおかげで、多様な資源を得ることができる韓国ならではの独自の漁法が生まれ、受け継がれています。



干潟板



海女潜水服



踏車

### 芸術の中の海

人は生活を営むなかで、自然を感じ、経験したことを表現しようとしてきました。これらの活動は、文や絵、工芸品など様々な形の作品として残されました。海を題材にした絵画や海から得たもので装飾された芸術工芸品を鑑賞することで、海的美しさに改めて気づかされることでしょう。



螺鈿玳瑁双龍文函  
釜山広域市文化財資料



螺鈿菊牡丹唐草文箱  
釜山広域市有形文化財



白磁鉄絵雲龍文壺  
釜山広域市文化財資料



花鳥図  
ユネスコ世界の記憶



海鶴蟠桃図屏風

### 4階 常設展示室2 航海館

航海館では、船舶や航海道具、航海技術を発展させ、世界に向かった人々の歴史や、韓国の航海船の発展の様子、水軍の海洋活動について紹介しています。「海を制する者が世界を制する」。歴史上の様々な国の海洋力について知る良い機会になるでしょう。

### 海の道しるべ

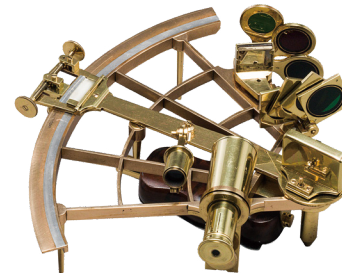
人間は危険な航海を安全かつ正確に行うために様々な道具を開発し、発展させました。また、その道具を頼りに未知の世界を冒険した探検家たちの記録は、当時の人々に新しい世界への期待を抱かせました。



ダドリーの海図帳『海のコト』



ミュンスターのプロトマイオス式世界地図



六分儀



星時計  
(ノクターナル)



アダムス家の地球儀と天球儀



経線儀  
(クロノメーター)

### 航海の時代

昔から人間は「海の向こうには何があるのだろうか」という疑問を抱いていました。その答えを得るための航海には、より精巧な船が必要でした。時代や地域によって船の形や特徴は少しずつ異なりますが、より多くの荷物を、より速く、安全に運ぶことができるものに発展しました。



サン・ガブリエル号模型

サンタ・マリア号模型

### 私たちが守り抜いた海

韓国は三方を海に囲まれているだけでなく、内陸にも河川が多く、船舶を利用した隣国との交流が活発でした。東アジア各国独特の伝統的な船舶を鑑賞するとともに、韓国の船舶が発展してきた歴史を知ること、海を守ろうとしてきた先人たちの努力を知ることができるでしょう。



忠愍公啓草



亀甲船模型



水軍操練図屏風

# 国立海洋博物館

National Maritime Museum of Korea

海を抱く、  
世界を繋ぐ

MMK 国立海洋博物館  
National Maritime Museum of Korea